

PODCAST PROGRAM



SAPPORO CAFE NOTES

Concepts & Thought Fragments

2026.01 / 鈴木 謙太郎 川筋 愛友

00 / Concept

札幌を起点に、カフェのカウンターの空気を記録する Podcast 番組。
日々交わされる会話には、コーヒーの話だけでなく、街の変化、人の営み、
時代の空気が滲み出します。
アンティークの家具とオーセンティックなジャズが流れる店内で、
映像ディレクターとカフェ店主が交わす、ありのままのよろず話。
これは、札幌のカフェ文化をアーカイブしていくための「ノート」です。

01 / Regular Cast

鈴木 謙太郎：

映像ディレクター。

「札幌カフェマップ」を手がけ、週末の街を歩き、人々の心象風景を記録し続けている。

川筋 愛友：

ネルドリップ店「枯淡珈琲」店主。

アトリエ森彦での経験を経て独立。カウンター越しに訪れる人々と対話を重ねる。

02 / Fragments of Thought

私たちが今、話したいと考えていること。対話の中で形を変えていく「種」のリスト。

01 / 新年、女性店主たちの視点

女性がカフェを営むことの喜びと葛藤、2026年の抱負。

道内の女性オーナー達から届いたメッセージをきっかけに、新年の静かな対話を始めます。

02 / カフェのフードメニュー

何を出し、何を出さないか。メニュー開発の裏側にあるこだわりと、コーヒーとの調和。

フードを提供することで変わる店の空気と、店主自身の食事事情について。

03 / 自家焙煎とは、お店にとって何なのか

自分で焼くか、選んで仕入れるか。インディーズとセレクトショップのように、それぞれの選択に宿る哲学。札幌で増え続ける自家焙煎店の背景と、

焙煎という営みがカフェにもたらすもの。

04 / 変わりゆくカフェのあり方

喫茶店からスペシャルティコーヒーへ。コロナ前後の変化、テイクアウト文化の定着。

時代とともに変化するカフェのあり方、役割、お客様との距離感、営業時間。

カフェという場所は、今、何を求められているのか。

05 / カフェの空間づくり、どうしてる？

カップ、椅子、テーブル、照明。古道具か、新品か、作家ものか。

どこで探し、どう組み合わせるか。口当たり、座り心地、光の落ち方。

予算と理想のバランス、そして時間をかけて育していく空間の物語。

06 / カフェでの「体験」、何にこだわってる？

音楽、照明、本棚、香り、声のかけ方。

五感に働きかける空間デザイン。ミックスカルチャーが生み出す豊かさ。

オーナーが大切にしている、コーヒーを飲む以上の「時間」。

07 / イベント出店、外でコーヒーを淹れること

マルシェ、フェス、ポップアップ。店の外に出ることで見える景色。

他店との交流、お客様との新しい出会い。外で淹れるコーヒーの魅力と、そこから持ち帰るもの。

03 / Format & Message

番組形式：

30～45分 / 月1～2回配信 / Spotify, Apple Podcast 他

メッセージ募集：

あなたの声を、カウンターへ。カフェオーナー、スタッフ
常連客、カフェ好きの皆さまからメッセージを募集しています。

メール：

kentaro@platinamix.jp / SNS : #SapporoCafeNotes

できればボイスメモなどで録音した「あなたの声」でお送りください。

締切 (Vol.01, 02) :

2026年1月23日（金）

<https://platinamix.jp/sapporo-cafe-notes/>